

令和8年（2026年）9月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和8年9月9日（水）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	比 嘉 啓 登 (なは自民・無所属の会)	1 G W 2 0 5 0 P R O J E C T S について	G W 2 0 5 0 P R O J E C T S の成長戦略を、本市 のまちづくりや那覇港湾施設の跡地利用等へ具 体的に反映していくための今後の取組を問う
		2 I T 創造館 について	リニューアル事業について、事業費や整備手法 の再検討を踏まえた今後の事業方針と、リニュー アル後に目指す施設機能を問う
		3 路線バスの 利便性向上に ついて	これまでの議論を踏まえ、利用実態や運行デー タ等を活用した具体的な利便性向上策及び利用 者増加に向けた今後の取組を問う
		4 グローバル 教育について	生成 A I 英会話システムや英語指導員配置等 の取組を踏まえ、教育効果の検証と小学校から中 学校まで一貫した国際化教育のさらなる充実 に向けた取組を問う
		5 官民連携の 公園再整備に ついて	新都心公園（水のみち）の利活用について、官 民連携による公園再整備の次の事業展開と今後 の取組方針を問う
		【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長	

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	山 田 マドカ (立憲民主・社・ニライ)	1 日勤救急隊について 2 小中学校の避難訓練について 3 防災行政について 4 GW2050 PROJECTSについて 5 児童扶養手当について 6 首里城正殿完成に伴う観光・文化振興について	日勤救急隊の運用開始による効果について伺う 那覇市立小中学校から消防職員の立会いを求めた避難訓練について、要請件数、実施件数、実施できなかった件数を伺う (1) 令和８年７月に熊本県で発生した災害に伴う本市職員等の応援派遣について、防災危機管理、上下水道局及び消防局の各部門における派遣状況及び現地での活動内容を伺う (2) 被災地への職員派遣を通して得られた知見及び課題を、本市の防災・災害対応体制避難所等へどのように反映していくのか、防災危機管理及び上下水道局の見解を伺う (1) GW2050 PROJECTSでは「県民所得２倍」という目標が示されておりますが、この「所得２倍」は、いつ頃から掲げられている目標なのか伺う (2) この「所得２倍」という目標は、どのような考え方、根拠から設定されたものなのか。また、本市はこの目標をどのように認識しているのか伺う 児童扶養手当における事実婚について、国が示す判断基準及び本市における資格認定・資格喪失の判断基準を伺う (1) 首里城正殿の完成に伴い、本員より首里城の絵を募集してはどうかといった提案を観光課に伝えたが、また今後より一層盛り上げて行くために本市が予定又は検討している記念事業、観光振興及び機運醸成の取組について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 首里城正殿完成を記念し、市内事業者、デザイナー、伝統工芸関係者等と連携した記念かりゆしウェアを制作・展開することについて、本市の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 地 貴 大 (公 明 党)	1 中学校における吹奏楽部の環境整備について 2 教職員の駐車場代について 3 中心市街地の活性化について 4 ゼロカーボンシティの推進について	(1) 本市、中学校における吹奏楽部の設置状況、過去３年間の部員数の推移及び指導体制について伺う (2) 各中学校が保有する吹奏楽器について、保有状況、使用年数、老朽化や修繕の必要性等をどの程度把握しているのか また、学校現場からどのような声が寄せられているか、今後の整備の考え方と併せて伺う 今年度から沖縄県が実施している教職員の駐車場代に対する通勤手当について、本市の小中学校への制度の周知及び申請状況について伺う (1) 令和７年度那覇市民意識調査で示された、国際通り及びマチグラーの市民の利用状況について、本市はその結果をどのように受け止め、今後の中心市街地活性化にどのように生かしていく考えか伺う (2) 同調査では、中心市街地商店街を魅力あるものにするための方策として、トイレ・休憩施設、暑さ対策、駐車場整備などの市民ニーズが示されている これらの調査結果を今後の中心市街地活性化施策にどのように反映していく考えか伺う (1) 本市は令和６年１月に「ゼロカーボンシティ」を宣言したが、宣言以降の主な取組と、その成果及び進捗状況について伺う (2) 2050 年度までの二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向け、一般家庭への太陽光発電設備及び蓄電池の普及をどのように位置づけ、現在どのような取組を行っているのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	普久原 あさひ (立憲民主党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 文化芸術について 2 学校行政について 3 遺骨返還について	(1) 7月26日に開催された「なは一とダイアログ」では、文化芸術に携わる実演家やアーティストから、出演・制作に対する報酬の低さや、価格交渉の難しさ、創作活動以外の事務負担など、文化芸術を仕事として継続していく上での課題が示された。本市はこれらの現場の声をどのように認識し、今後の文化芸術政策にどのように反映していくのか伺う (2) 8月1日と2日に行われた「なは一とカンファレンス 2026 アーティストの条件2」では、様々な分野の文化芸術の担い手から、制作時間の確保、制作場所や作品保管、適正な報酬や契約、助成制度、子育てや介護との両立など、創作活動を継続していく上での具体的な課題が示された。那覇市は今回上がった課題をどのように整理・検証し、今後の文化芸術政策やなは一の事業に反映していくのか伺う 教育委員会から提供された資料によると、2021年度から2025年度までの5年間で、学校現場におけるパワーハラスメントの相談は39件ある一方、認定は2件にとどまっている。さらに、2022年度から2025年度までの4年間では、29件の相談に対して認定は0件である。教育委員会は、この状況をどのように分析し、認識しているのか伺う 2025年11月定例会において、京都大学が同年5月14日付で策定した「人骨資料返還手続に関するガイドライン」を踏まえ、那覇市の琉球人遺骨返還問題への認識を伺った。その後、那覇市は琉球人遺骨の返還に関して、京都大学及び東京大学とどのような協議・意見交換等を行ってきたのか。その内容及び現状の進捗状況について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 市長の公約 及び政治姿勢 について	(1) 市長の公約について、現時点における 98 項目の公約について、「達成・実現」「着手中・検討中」「未着手」それぞれの件数及び公約の達成率を伺う (2) 米軍普天間飛行場の返還について、米側は辺野古の代替施設では確保されない「長い滑走路」の選定を返還条件としており、本年 7 月には那覇空港の使用を想定していたことも報じられた。また、本市議会は 9 月 1 日、那覇空港における米軍機の使用を認めないこと等を求める「那覇空港で発生した航空自衛隊機事故に対する抗議と、那覇空港の民間専用化の実現を求める意見書」を可決した。これらを踏まえ、辺野古新基地建設によって普天間飛行場の全面返還は確実に実現すると思うのか。また、那覇空港の米軍及び航空自衛隊機の使用について、市長の認識及び見解を伺う (3) 市長はこれまで、旧統一教会のみならず、社会的に問題のある団体とはしっかりと線引きを行い、毅然とした姿勢で一線を画すことは、市政を預かる者として当然との認識を示している。その後、旧統一教会（世界平和統一家庭連合）に対する解散命令が確定したことも踏まえ、改めて旧統一教会及びその関連団体との関係について、市長の現在の政治姿勢を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	前 田 千 尋 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 教育行政について 2 小中学校の 学校給食について 3 教職員の駐 車場料金について 4 公園行政について 5 スクールゾ ーンについて	(1) 本市における子どもの情操教育について、現状を問う (2) 中学校部活動における使用する楽器の修繕や購入について、現状を問う 学校給食費無償化は大変喜ばれている。しかし、本市は、いまだ国の摂取基準のエネルギーが満たされていない。現状と改善に向けた取組を問う 市内小中学校に勤務する教職員が学校敷地内に自家用車を駐車する場合、駐車場使用料 1 か月 5 千円を負担している。しかし、2025 年の人事院勧告および給与法改正により、国家公務員については駐車料金が通勤に必要な経費として通勤手当の対象となった。沖縄県においても教職員に対する駐車場料金に係る手当が支給されている。このことは、駐車場料金が単なる私的負担ではなく、勤務に必要な通勤経費であることを制度として認めたものである。見解を問う 本市内の公園トイレの洋式化を進めるように 2010 年の 2 月定例会から一貫して求めてきた。防災の観点からも洋式化をさらに進めるべきである。進捗を問う 楚辺 2 丁目の城岳小学校から壺川に向けての長い下り坂がある。この通りはスクールゾーンだが、車の出入りも多く、安全面を危惧する声がある。道路の出入り口に看板を設置して、子ども達の登下校時には、車が出来るだけ通らないように、安心して歩けるようにしてほしいとの声がある。本市の対応を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 道路行政について	那覇高校前の十字路の中央部分が道路のアスファルトが大きく波を打っている。地元住民は車のスピードを落とすなどしているが、観光客など道の凸凹に気が付かず、いつか事故にならないか、大変心配だとの不安の声がある。対応を問う
		7 中心商店街の活性化について	中心商店街の道路整備について、修繕だけでは改善できない。全面的な施工をすべきとこれまでも提案をしてきた。特に、第一牧志公設市場から浮島通りや旧にぎわい広場へ向かう市道の改修が必要である。対応を問う
		8 本市の危機管理対応について	県内紙でもセクハラ疑惑が大きく報じられている県立芸術大学の元学部長を市内小学校の外部講師として招き、小学校で授業が行われた。保護者からは、学校の安全配慮と信頼に関わる問題であり納得できないと切実な声がある また、この教授を代表とした団体が文化財課との共催事業を担当している。セクハラ疑惑のある当事者に事業を任せるべきではないと市民からの声がある。教育委員会と市民文化部の対応と見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	金 城 なおこ (なは自民・無所属の会)	1 産後ケア事業について	令和７年度における産後ケア事業の利用状況について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 子育て行政について	保護者の育児に伴う心理的、身体的負担の軽減を図るための、本市の子育て支援（こども誰でも通園制度、一時預かり保育事業、ファミリーサポートセンター事業、産後ケア事業）の取組について伺う
		3 デジタル活用について	産婦人科医、小児科医等の専門職にオンライン診療で相談できる体制について、本市の状況を伺う
		4 放課後児童クラブ利用について	(１) 保護者が育児休業を取得した場合、既に放課後児童クラブを利用している児童の継続利用について、本市の認識を伺う (２) 乳児を抱える家庭への支援及び児童の生活環境の継続の観点から、保護者が育児休業中である場合の放課後児童クラブ利用について、要件緩和を行う考えがあるか伺う
		5 教育行政について	本市における不登校児童生徒の学習支援の現状及び、一人ひとりの状況やニーズに応じた新たな学びの場の確保について、本市の見解を伺う
		6 社会的養育について	児童養護施設や里親家庭等を退所した後の若者、いわゆるケアリーバーに対して自立支援など本市における相談体制について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 災害時における避難支援体制について	津波など緊急を要する災害が発生した事を想定し、関係事業者と連携した実動訓練や避難支援体制の実効性を高める取組について本市の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	いずみ ティファニー (那覇ぬちぐる)	1 自立支援教室について 2 児童虐待と家庭支援について 3 市立学校における個人情報漏えい等のおそれについて 4 市役所窓口対応について 5 災害時における避難所等の環境整備について	校内自立支援室の現在の設置校数・設置校名・利用状況及び、出張自立支援教室の実施校・実施回数・利用状況を伺う 那覇市が受けた児童虐待相談・通報について、どういった内容があるのか過去３年間の内容・件数・推移・そのうち児童相談所へつないだ件数を伺う これまで教職員に対し、サポート詐欺や不審なメールなど、情報セキュリティに関する研修や注意喚起をどのように行ってきたのか伺う (1) 窓口対応について、市民から寄せられる意見や苦情をどのように把握し、原因の検証や業務改善につなげているのか伺う (2) 窓口での説明や案内のばらつき、誤案内を防ぐため、各部署においてマニュアルやFAQ、対応事例等をどのように整備・共有しているのか伺う (3) 新規採用職員や異動した職員が窓口業務を担当する際、どのような研修や引継ぎを行い、どの段階で一人に対応できると判断しているのか伺う (1) ペット同行避難の受け入れ場所や受け入れ態勢について伺う (2) 避難所における女性や子ども等への性暴力、性被害及び犯罪を防止するため、居住スペース、トイレ、更衣室等の配置など、どのような対策を講じることとしているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 人工呼吸器、酸素濃縮器、吸引器等、日常的に電源を必要とする医療機器を使用している市民について、市はどの程度把握しているか。また、大規模災害による停電時の電源確保及び避難支援について、どのような体制を整えているか伺う (4) 台風等の災害時において、これまで自主避難所に支援が必要な方が避難したことがあるのか伺う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	吉 里 明 (公 明 党)	1 那覇市の成長戦略について	(1) これまで、プログラミングなどのデジタル教育を推進するための補助制度等について提案してきた デジタル教育の推進は、英語教育の拡充と同様に、子どもたちの可能性を広げ、10年後、20年後を担う人材を育成するための重要な先行投資である。あわせて、デジタル関連事業者の集積などを通じて、高付加価値産業の基盤をつくる取組にもなると考える これまで提案してきた補助制度等の検討状況と、制度化に向けた課題をどのように整理しているのか。また、どのような環境や仕組みが整えば実現可能と考えるのか、見解を伺う (2) GW2050 PROJECTSでは、新たな産業創出に向けた成長領域として、「ブルーエコノミー」「先端医療」「航空・宇宙」の3分野が示されている 本市として、これらの分野の可能性をどのように捉えているのか。特に、那覇空港を有し、県内の大学や研究機関、恩納村のJAXA（宇宙航空研究開発機構）などとの連携が考えられる本市において、航空・宇宙分野にどのような可能性を見いだしているのか
		2 都市型MICEについて	那覇市都市型MICE振興戦略の策定後における取組状況と成果、現在の課題について伺う。また、今後、本市が目指すべき方向性、具体的な数値目標及びその達成に向けた推進体制などについて伺う
		3 中小企業への組織開発支援について	中小企業の持続的な成長には、人材を育て、社員一人ひとりの力を引き出し、組織として力を発揮できる経営基盤を築くことが重要である 本市は、市内中小企業における組織づくりや人材定着の現状と課題をどのように認識しているのか。また、組織開発を軸とした伴走型支援を充実させる考えはないか、見解を伺う

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 識名公園について	識名公園は、本市を代表する自然・歴史文化・スポーツ・交流の拠点である。識名園と那覇市民体育館について、以下伺う (1) 識名園について、近年の入園者数の推移とその要因をどのように分析しているのか。また、観光資源としての活性化に向けた課題について伺う (2) 那覇市民体育館について、近年の利用者数の推移及び施設面における現状と課題について伺う
		5 シルバー人材センターについて	那覇市シルバー人材センターについて、会員数、実働数、受託状況及び就業実績を含めた現状と課題を伺う。また、高齢化が一層進展していく中、今後、同センターに期待する役割と本市との連携方針について伺う
		6 保護者の負担軽減について	以前に大阪府豊中市にて午前7時から市立小学校校門開放を実施している事例を紹介しながら、子育てと仕事の両立支援を後押しする取組を提案してきた。現在の検討状況と課題などについて伺う
		7 子どもの読書の取組について	スマートフォンなどの普及や生活環境の変化により、子どもの読書離れが懸念されている 本市の小中学生の読書状況と課題を伺う。また、読書が子どもの言葉、感性、表現力、想像力などに与える影響と、その重要性をどのように認識しているのか、今後の取組と併せて伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		8 病院付添い 支援について	以前に高齢者の院内介助を含めた病院付添い支援について提案している。その後、他自治体の事例も踏まえて、本市としてどのような検討を行ってきたのか。また、本市における現状と今後のニーズについて、どのように認識しているのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	上 原 仙 子 (みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 防災行政について	(１) 近年、全国各地で大規模な地震や豪雨災害等が相次いでおり、行政による「公助」の充実はもちろん、市民一人ひとりの「自助」、地域住民が互いに支え合う「共助」を含めた地域防災力の強化がこれまで以上に重要となっている 本市は、人口が集中する都市部であるとともに、集合住宅が多く、昼間人口や観光客も多い。また、地震、津波、台風、高潮、豪雨、土砂災害など、様々な災害を想定した備えが求められる そこで、災害発生時に地域住民が主体的に行動し、行政や消防等と連携できる「災害に強い地域づくり」の観点から、以下伺う ① 本市における地域防災の現状と課題をどのように認識しているか伺う ② 大規模災害発生時には、地域住民による自主的な避難所運営が重要になる。本市における避難所運営訓練の実施状況と課題を伺う ③ 市民との協働という観点から、地域防災力を高めるための本市の取組を伺う (２) 熊本地震をはじめ、能登半島地震など近年の大規模災害では、被災自治体の職員や消防力だけでは十分な災害対応が困難となり、全国の自治体から行政職員、上下水道職員、消防職員等が被災地へ派遣され、復旧・復興や住民生活の支援に大きな役割を果たしている 大規模災害は、いつ、どこで発生するか分からない。沖縄県及び那覇市においても、「支援を受ける側」の備えだけでなく、県外で大規模災害が発生した際に迅速に「支援する側」として行動できる体制を平時から整えておくことが重要である 特に本県は島しょ県であり、県外への職員、車両、資機材等の派遣には航空・海上輸送等の調整を要することから、本土の自治体

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 公園行政について	以上に事前の計画と関係機関の連携が重要になるものとする。そこで、以下伺う ① このたびの熊本地震に際し、本市職員派遣等の応援体制について ② 大規模災害時における那覇市消防局の応援体制について 末吉公園は、都市部にありながら豊かな自然林が残り、多様な動植物が生息する本市の貴重な自然環境である。また、公園内には「那覇市立森の家みんな」が設置され、自然体験活動や環境学習の場としても重要な役割を担っている このたび、末吉公園において、八重山諸島を自然分布域とし、沖縄本島では県指定外来種となっているヤエヤママドボタルが多数確認され、捕獲・駆除が行われている。末吉公園に生息する在来種や生態系への影響が懸念されることから、以下伺う (1) ヤエヤママドボタルの確認状況及び在来種や生態系への影響について、本市の認識を伺う。また、沖縄県や専門家、関係団体等との連携を含め、今後どのように調査・防除に取り組む考えか伺う (2) 末吉公園の豊かな自然環境を将来にわたって保全していくためには、公園管理、環境行政、環境教育を担う関係部署に加え、「森の家みんな」の指定管理者や専門家、地域、市民等が継続的に情報を共有し、協働して取り組む仕組みが必要であるとする。今回の外来種への対応を契機として、関係者による定期的な意見交換や情報共有の場を設けるなど、行政と市民等が一体となった末吉公園の自然環境保全の体制づくりについて、本市の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（１日目） 令和８年９月９日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	幸 地 わかえ (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 地域課題の解決に繋がる探究的な学びについて 2 ハンセン病問題の偏見差別をなくす取組について 3 災害時における避難所運営等について	(1) 那覇市小中学校において、「総合的な学習の時間」をはじめとした探究的な学びについて、現在どのような取組が行われているのか。現状と課題を問う (2) 探究的な学びを充実させるため、本市の小中学校では、子どもたち自身が地域の中から問いを見つけ、地域の方々や企業、大学、NPO、行政などつながりながら、考え、提案し、実際の地域の中で試してみる等の取組について、本市の見解を問う (3) 今後、那覇市として、子どもたちの身近な「なぜ?」「やってみたい」を出発点とした探究的な学びの目的をどのように捉え、どのように推進していくのか、教育委員会の見解を問う (1) 北海道釧路市の取組などを参考に、那覇市役所本庁舎など、多くの市民が訪れる場所において、「ハンセン病問題を考えるパネル展」を開催していただきたいと考えるが、本市の見解を問う (2) ハンセン病への偏見や差別を背景に、無実を訴え続けたFさんが死刑となり、冤罪が指摘されている菊池事件 この事件を通して、偏見や差別が人権や司法、さらには一人の命にまで重大な影響を及ぼし得ることを学び、ハンセン病問題の歴史と教訓を次の世代へつなぐためにも、映画『新・あつい壁』の市民向け上映会を那覇市で開催していただきたいと考えるが、本市の見解を問う (1) 2026年8月29日及び30日に那覇市内で開催された、避難生活支援リーダー/サポーター研修について、開催の趣旨及び意義を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 災害時に備えた備蓄品・資機材の整備について 5 災害時におけるトイレ環境の確保について	(2) 今回の研修の開催を、今後どのように地域防災力の向上につなげていく考えか、問う 本市における災害時の備蓄品及び資機材について、現在の整備状況を問う 本市におけるマンホールトイレについて、現在の設置状況、種類及び今後の整備計画を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長